

緊急対策求め集結！ 農業経営危機突破生産者代表集会

JAグループ熊本 県農業者政治連盟

「農業経営危機突破生産者代表集会」が5月24日、熊本市で開かれ、菊池地域農業者政治連盟と菊池地域酪農政治連盟が参加。県内の生産者やJAの役職員ら約600人が集結し、県選出の国会議員らに要請書を手渡しました。

中東情勢を受けてナフサ不足による資材供給の不安定化、米価が暴落する懸念もあるとして緊急対策を求める声が相次ぎました。

要請では、燃料や肥料・飼料などの価格高騰に対し、セーフティーネット(安全網)を拡充し、予算や基金の積み増しを求めました。米価について、当面の米需給安定に向けた対策などを要請。令和9年度の農業政策・予算に関する要請もしました。

意見表明では、畜産酪農代表として津田恵美委員が「耕畜連携への支援強化や農地基盤整備」「生産基盤維持拡大への支援拡充」などを強く訴えました。意見交換では、県青協の東大輔委員が「食料品の消費税率ゼロ」を導入する場合の農家の負担増にも言及し、不利益にならないよう意見を述べました。



県青協 東委員



意見表明する津田委員



ガンバロー三唱

農業者の想いを国政に届けよう！

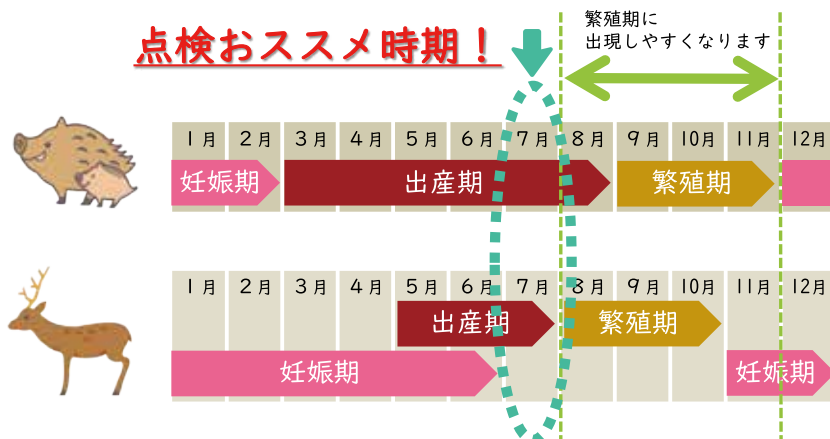
みんなで学ぼう 鳥獣害対策③

侵入防護柵の点検 いつやる？

日々の点検＆7月の重点点検

侵入防護柵の効果を継続的に引き出すために、常日頃の点検・維持管理も重要ですが、鳥獣が活発に動きだし、田畑に現れやすい時期を踏まえて、その少し前には重点的に点検や補修を実施することが効果的です。

点検おススメ時期！



イノシシは9～11月頃、シカは8～9月頃に活発になり、田畑へ出現しやすくなります。このため、**7月頃に重点的に侵入防護柵の点検**を行い、必要な個所の補修を行いましょう。